

「出会いは人を変え、人生を変える」

校長だより

平成31年1月23日(水)

第23号

「我が子を入れたくなる学校をつくりたい」(初代校長) 那覇西高等学校長 長濱 雅仁
「いつも太陽の光に顔を向けていれば、影を見ることはありません」 - ヘレンケラー -

” Once we share goals, we are all brothers and sisters ! ”

率先垂範：子どもは親や教師の「言う通り」にはならないが「する通り」になる。

師弟同行：価値観は言葉以上に、実行している人の姿によって伝えられる。 以上渡辺和子氏

◇学校行事、大会結果、イベント等

- ・ラオス水害復興支援のための募金活動が1月22日～24日の3日間、金城伶奈さん(3-3)とボランティア部も協力して校内で行われます。昨今のようなご時世ゆえに、遠い他国のことにも関心を寄せることの大切さは今後ますます求められていく気がするのです。那覇西、伶奈さん ヨシ!
- ・1月21日に小禄第三民生委員児童委員・那覇市福祉協議会主催の「ふれあい昼食会」に招待され出席しました。保育園(さつきこども園)の園児や老人会の100名を超える皆さんがいろいろな余興を披露し、盛り上がりました。平均年齢80歳以上?の方々のゆんたく一ぶりに感心するとともに数年先の自分の姿をオーバーラップしているような不思議な光景がそこにありました。 チャメツ!
- 校内外の 小さな変化・成果に皆さん、気がつきましたか?
 - ・職員室入り口横の進路掲示板に家庭科の弁当づくりの授業(3年9組)で作った弁当内容が班ごとに展示されています。競技力の向上にもつながる、雅美先生の体育科への熱い思い伝わってきました。

35年前の小禄中教え子の訪問(1月14日)

今年の正月は男子サッカー部の応援で関東に行き、留守にしていたため、毎年私の家に新年の挨拶に来てくれる生徒の1人(子ども達4人含む)が14日(月)に来てくれた。「先生、カーヨ! 今日いる? 夕方頃行っていい?」「もちろん、OKだよ」奥さんに打診することなく返事をした。昨夜、「明日は夕方から平和通り(街)でも行こうか」と話していた記憶がなぜか瞬時にもどってきた。「しまった!」そのことにすぐさま気づいたが後の祭り。妻は即座に料理作りに入った。数時間にわたる沈黙の後、5人分の料理ができ上がった。「沈黙は時に金」ではないことを改めて再確認。1時間ほどしてカーヨの家族が来た。沈黙が破れ、あたたかい空気かもどった。なぜか私の脳裏に「プロジェクトX」のテーマ(中島みゆきの曲)が流れてきた。彼女の4番目の子が男の子で上の3名のお姉ちゃん達が弟の面倒を見ていた。さすがに末っ子の男の子だけあって、ウーマクー、ボーチャーだった。年末のサッカー選手権の話、子どもの話(上の中学生2人はなぜか那覇西の国際人文科に行きたがっていた。),「西南門小(彼女の嫁ぎ先)のかまぼこが年末からよく売れて休む時間がほとんどなかった話、糸満の美味しい料理屋等の話に花が咲いた。教え子はいつまで経っても教え子であり、先生は先生なのだとしみじみとした思いに浸っていました。

校長あいさつ(推薦入試1/21)

那覇西高校を受験してくれた中学生の皆さん、こんにちは! ようこそ創立33年を迎える那覇西高校へ。今回、本校を受験するにあたり、中学校で多くの先生方から多くの助言、アドバイスを受けたものだと思います。皆さんは平成最後で、入学後に新しい元号となる年に入学することになります。何とも運命的なものを感じますね。本校は部活加入率が90%近くあり、文武両道の進学校、さらに師弟同行、率先垂範の下、先生方も常に生徒に寄り添う、「チーム那覇西」の高校です。ところで近江商人の経営哲学に「三方よし」ということばがあります。「売り手よし、買い手よし、世間よし」という意味です。これから校長が話す「天と地と真ん中」の話覚えてください。まず、校内の地面を見たら「夢と徳のかげら」が落ちているということ。ぜひ拾い続けてください。次に正面を向いたら、未来にかかった高所のつり橋を思い浮かべてください。つり橋の道幅が狭いと怖くて歩けません。道幅を広くするのは学問と部活動です。最後に空を見上げてください。高いところにリンゴ(夢)が実っています。何度もチャレンジしてもぎ取ってください。リンゴが落下するのを待つ人にはならないでください。疲れた時、「天と地と真ん中」の三つの話を何かの機会に思い出し、奮起してください! 那覇西高校は沖縄一躍動感あふれる高校です。今日は全力で頑張ってください。

指導者の心に火が灯らなければ、選手の上に火は灯らない。(能代工高バスケ元監督 加藤廣志氏)